

平成 18 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 吉田 光次

最終学歴	京都大学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程
取得学位	博士（理学）
所属学会	日本物理学会
現在の専門分野	原子核・素粒子物理学
研究課題	有限温度・密度物質での相転移現象

【研究上の特記事項】

平成 17 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））（課題名：「高密度クォーク物質中での強磁性相の自発的生成と強磁場の出現に関する研究」）分担研究者

【社会的活動】

パソコン入門講座（本学主催）
Excel入門講座（本学主催）

【学内活動】（学内職歴を含む）

学生指導委員
センター運営委員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（学会発表） Analysis of the Phase Structure of Thermal QED through the HTL Resummed Dyson Schwinger equation -A Gauge "invariant"	共同	平成 18 年 11 月	Joint Meeting of Pacific Region Particle Physics Communities	有限温度QEDにおけるカイラル相転移現象のDS方程式による解析のゲージ依存性について調査し、WT恒等式を拘束条件とする方法で、物理的な解を導いた。